

令和3年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

県東	小学校	児童数	95
----	-----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20m シャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	19.22	17.68	36.05	30.21	35.08	9.65	120.03	18.71	46.48
大阪市	16.11	18.48	32.94	37.73	42.24	9.50	147.79	20.23	50.79
全国	16.22	18.90	33.48	40.35	46.83	9.45	151.41	20.58	52.52
女子	16.65	15.35	39.73	29.50	31.02	9.85	116.52	11.46	47.29
大阪市	16.00	17.64	37.71	36.25	34.55	9.70	140.60	12.84	52.81
全国	16.09	18.08	37.90	38.72	38.15	9.64	145.18	13.30	54.64

結果の概要

男女とも、体力合計点は全国・大阪市を下回った。また、前回（令和元年度）調査と比較しても7ポイント以上低下している。種目別では、男女とも「握力」「長座体前屈」以外は大幅に平均値が下がっている。特に「反復横跳び」（敏捷性）や「20mシャトルラン」（持久力）、「立ち幅跳び」（瞬発力）の平均値の低下が著しい。

また、運動習慣等調査から「運動やスポーツをすることは好きですか」に、男女ともに約84%の児童が「好き」「やや好き」と回答しており、比較的運動が好きな児童が多い一方、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合が、男子25%、女子32%と全国と比べても高い割合となっている。新型コロナウイルス感染拡大により、運動の機会が大幅に減少し、そのことが児童の体力低下につながっていることがわかる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校児童の多くは、体を動かすことが好きであり、休み時間にも運動場で元気よく遊び児童が多くみられていた。また、休日や放課後にも多くの児童が地域のスポーツクラブや習い事などを通じて運動に親しんでいる。前回（令和元年度）の調査においても体力合計点において、男子は大阪市平均を、女子は大阪市・全国平均を上回る結果が見られたように、日常的な運動習慣が児童の体力向上につながっていると考えられる。

しかし、新型コロナウイルスの影響により休み時間の運動場の使用を制限したり、地域の運動クラブにおいても活動が休止されたりする期間があるなど、児童の運動の機会が大幅に減少した。このことが予想以上に児童の体力低下につながっていると考える。

今年度も、コロナ対策を講じながら、なわとび大会を実施するなど取り組みの工夫を行ってきたが、次年度以降はさらに運動の機会を保障するよう、休み時間や放課後の運動場の開放、体育の授業における運動時間の確保に取り組んでいく必要があると考える。